



小田原合戦はなぜ起こったか

歴史講演会

「北条氏滅亡と天正地震」

2018年 6月28日 (木)

午後2時～4時 (開場 午後1時30分)

小田原市生涯学習センター

「けやき」2階大会議室

参加費 500円

主催

北条五代百年その時會

共催

小田原北条の會

後援

小田原市・小田原市教育委員会

申し込み先

北条五代百年その時會

☎0465-35-5134 山口 正起

E-mail: rkprn497@yahoo.co.jp

講師

森田 善明氏

(歴史研究家・作家 東京都在住)

天下統一の直前。五代約一〇〇年にわたって繁栄した北条氏の王国は、豊臣秀吉率いる天下の軍勢二〇万に四方から攻められ、無惨にも消滅しました。

しかし、奥羽の伊達、北国の上杉、東海の徳川、中国の毛利、四国の長宗我部、九州の島津と、各地の覇者が豊臣大名として生き残りをとげたなか、なぜ、北条氏ばかりが滅亡の憂き目に遭ったのでしょうか。——古来、北条氏は、戦国初期から大國をなしていたことに驕って自ら滅亡の道をたどったとされていますが、近年、こうした通説は見直しを迫られています。

ときに初代早雲永眠五〇〇年の節目を翌年に控える今回の歴史講演会では、話題の書籍『北条氏滅亡と秀吉の策謀』の著者、森田善明氏を招いて、あらたな小田原合戦像を提示します。